

# フォントのインストール方法

→ Windows XP

→ Windows 2000

→ Windows 98/NT4/ME

→ Mac OS X

→ Mac OS 8, 9 and Mac OS X Classic

## Windows XP および Windows 2000 にフォントをインストールする。

Windows XP (Home および Professional) および Windows 2000 はフォントのファイル名の拡張子が「.otf」および「.ttf」の OpenType フォントおよび拡張子が「.pfb.」と「.pfm」の PostScript Type 1 フォントおよび拡張子が「.ttf」の TrueType フォントを OS 自体がサポートしています。これらのフォーマットのフォントはどれでも、Windows の「フォント」コントロールパネルを使ってインストールや削除が可能です。ただし、Windows XP と Windows 2000 とでは、「フォント」コントロールパネルの使い方に若干の違いがあります。詳しくは以下を参照してください。

(Extensis Suitcase, Font Reserve または Font Navigator などのフォント管理ユーティリティを用いてフォントをインストールする場合は、当該ユーティリティの取り扱い説明書に記載されているフォントの追加と設定に関する記述を参照してください)。

### Windows XP の場合

1. 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
2. 「その他」の下にある「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「クラシック表示」を使用している場合は、「フォント」をクリックします。(「カテゴリー表示」を使用している場合には、「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。そして、画面左手の「関連項目」の下の「フォント」をクリックします。)
4. 「フォント」ウィンドウの「ファイル」メニューを選択し、「新しいフォントのインストール」を選択します。
5. そこで、インストールするフォントを含むフォルダーまで移動します。OpenType フォントをアドビからオンラインで購入された場合には、圧縮ファイルを解凍したフォルダーにフォントが保存されています。
6. インストールするフォントを選択してください。クリックすることでファイルをひとつ選択することができます。コントロールキーを押しながらクリックすることで複数のフォントを選択することができ、シフトキーを押しながらクリックすると、その位置までのすべてのファイルが選択されます。

7. 「OK」 ボタンを押すことで選択したフォントがインストールされます。
8. インストールが完了すれば、「フォント」コントロールパネルを閉じます。インストールしたフォントは使用するアプリケーション・ソフトウェアのフォント一覧メニューに表示されます。

#### Windows 2000 の場合

1. 「マイコンピュータ」をダブル・クリックします。次に「コントロールパネル」アイコンをダブル・クリックします。さらに「フォント」アイコンをダブル・クリックします。
2. 「フォント」ウィンドウの「ファイル」メニューを選択し、「新しいフォントのインストール」を選択します。
3. そこで、インストールするフォントを含むフォルダーまで移動します。OpenType フォントをアドビからオンラインで購入された場合には、圧縮ファイルを解凍したフォルダーにフォントが保存されています。
4. インストールするフォントを選択してください。クリックすることでファイルをひとつ選択することができます。コントロールキーを押しながらクリックすることで複数のフォントを選択することができ、シフトキーを押しながらクリックすると、その位置までのすべてのファイルが選択されます。
5. 「OK」 ボタンを押すことで選択したフォントがインストールされます。
6. インストールが完了すれば、「フォント」コントロールパネルを閉じます。インストールしたフォントが使用するアプリケーション・ソフトウェアのフォント一覧メニューに表示されます。

注意 PostScript Type 1 フォーマットのマルチプル・マスター・フォントを Windows XP または Windows 2000 上で利用する場合には、ATM 4.1（またはそれ以後のバージョン）をインストールする必要があります。後述の Windows 98/ME/NT4 にフォントをインストールする手順に従って ATM とフォントとをインストールしてください。Windows XP および Windows 2000 には ATM 4.0（またはそれ以前のバージョン）をインストールしないでください。

#### Windows 98/ME/NT4 の場合

PostScript Type 1 またはファイル名の拡張子が「.otf」の OpenType フォントを Windows 98, Windows ME, Windows NT 4 にインストールするためには、Adobe Type Manager® (ATM®) を先にインストールしておく必要があります。フォントは ATM からインストールすることになります。ファイル名の拡張子が「.otf」の OpenType フォントにはバージョン 4.1 以後の ATM が必要です。PostScript Type 1 フォントにはバージョン 4.0 またはそれ以後の ATM

が必要です。Windows XP および Windows 2000 には ATM は必要ありません  
(前述の別項を参照のこと)。

1. Type 1 またはファイル名の拡張子が「.otf」の OpenType フォントを Windows 98/ME または Windows NT 4.0 に ATM Light 4 を用いてインストールする手順は以下のとおりです。
2. 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」の中の「Adobe」の中にある「Adobe Type Manager」を選択します。
3. ATM の中から「フォント」のタブをクリックします。
4. 追加元のポップアップメニューから「フォント参照」を選択します。インストールするフォントのあるフォルダーに移動します (もしフォントがインストーラーに同梱されていた場合、別に指定しなければ、そのフォルダーは c:\temp\Adobe となる場合があります)。そのフォルダー内のフォントはそのフォルダーの名前の下に表示されます。
5. インストールするフォントを選択してください。クリックすることでファイルをひとつ選択することができます。コントロールキーを押しながらクリックすることで複数のフォントを選択することができ、シフトキーを押しながらクリックすると、その位置までのすべてのファイルが選択されます。
6. 「追加」のボタンを押して、フォントをインストールします。
7. ATM を終了します。

フォントのインストールが完了し、使用するアプリケーション・ソフトウェアのフォント一覧メニューにインストールしたフォントが表示されます。

### Mac OS X のネイティブアプリケーションの場合

Mac OS X は Type 1 と OpenType フォントとを OS 自体がサポートしています。そのため、他の種類のフォントと同じ方法で、Type 1 と OpenType フォントを Mac OS X にインストールすることができます。ただし、OS X のシステムにインストールされたフォントは Classic 対応のアプリケーションからは使用できません (後述参照)。OS X ネイティブ環境下のフォントは (a) どんなユーザーからもアクセス可能か、(b) 単独のユーザーだけからアクセス可能かのどちらかです。

(Extensis Suitcase, Font Reserve, FontAgent Pro または MasterJuggler などのフォント管理ユーティリティを用いてフォントをインストールする場合は、当該ユーティリティの取り扱い説明書に記載されているフォントの追加と設定に関する記述を参照してください)。

1. フォントをインストールする前に実行中のアプリケーションをすべて終了してください。
2. インストールしたいフォントを含むフォルダーを準備します。  
アドビの OpenType フォントをオンラインで購入された場合、それ

は解凍後、ハードディスク上のひとつのフォルダーになります。複数のフォントのパッケージを購入された場合、各フォントごとにフォルダーが割り当てられます。

3. その各フォルダーのフォントのファイルをすべて、次のいずれかの場所に移動またはコピーします（移動・コピー先のフォルダー中のフォントは階層的なフォルダーをもたず、ファイルをそのままの状態を含むようにしてください）。

(a) <ボリューム> /Library/Fonts

注意 これを行うには、「管理者」の権限をもってログインする必要があります。フォントはどのユーザーからも利用可能となります。

(b) <ボリューム> /Users/ <ユーザー名> /Library/Fonts

注意 この場所にあるフォントは指定されたユーザーだけしか利用することができません。

4. フォントのインストールが完了し、使用する Carbon およびネイティブのアプリケーションのフォント一覧メニューにインストールしたフォントが表示されます。

#### Mac OS 8, 9 または OS X Classic の場合

Mac OS 8.6 から 9.2 または OS X Classic に Type 1 または OpenType(.otf) フォントをインストールするには、バージョンが 4.6 またはそれ以後の ATM Light が必要となります（OS X Classic の場合にはバージョン 4.6.2 の ATM Light が必要となります）。

Mac OS X を使用している場合、フォントを Classic 環境と OS X ネイティブ環境の双方にインストールするか、Carbon ネイティブのアプリケーションだけのためにインストールを行うかを決める必要があります。Classic および Carbon ネイティブのアプリケーションの双方からフォントにアクセスできるようにするには、フォントを Classic 環境にインストールします。Carbon ネイティブのアプリケーションだけがフォントのアクセスできればよい場合には、OS X ネイティブ環境にフォントをインストールします。

注意 フォントを含むフォルダー全体をそのまま上記のシステムのフォルダーに移動しないでください。Mac OS はシステムのフォルダー内に階層的にフォルダーがあっても、その中のフォントは認識しません。

(Extensis Suitcase, Font Reserve, FontAgent Pro や MasterJuggler などのフォント管理ユーティリティを用いてフォントをインストールする場合は、当該ユーティリティの取り扱い説明書に記載されているフォントの追加と設定に関する記述を参照してください。)

#### ATM Light を用いるが、フォント管理ユーティリティを利用せずにインストールする場合

次の手順に従ってフォントをインストールします。

1. フォントをインストールする前に、すべてのアプリケーション・ソフトウェアを終了します。

2. インストールしたいフォントをハード・ディスクに置くか、フォントをダウンロードしたフォルダーに移動します。フォルダーごとに、それぞれのフォント・パッケージまたはコレクションが収納されているはずです。
3. 各フォントのフォルダーからインストールするすべてのフォントのファイルを「システムフォルダー」の「フォント」フォルダーに移動するかコピーして、フォントをインストールします。PostScript Type 1 フォントの場合、これにはアウトラインフォントのファイル（赤い A 印のアイコンで表示されたファイル）とフォントスーツケースの両方をいっしょに移動・コピーします。通常、ひとつのファミリーに属する複数のアウトラインフォントがひとつのフォントスーツケースに関連付けられています。しかし、ファイル名の拡張子が「.otf」の OpenType フォントには単一のファイルしか存在せず、スーツケースは必要ありません。
4. フォントのインストールが完了し、使用するアプリケーション・ソフトウェアのフォント一覧メニューにインストールしたフォントが表示されます。